

【めざす生徒像】

『友愛』 他人に思いやりを持ち、ともに高め合う生徒

【社会の創り手となる生徒の育成】

『礼節』 礼儀と節度を守る生徒

【他者を価値のある存在として尊重できる生徒の育成】

『協力』 力を合わせ、よい校風をつくる生徒

【多様な人々と協働できる生徒の育成】

【学校教育目標】

生徒一人一人が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り開く力を育み、社会の作り手となる生徒を育成する。

梅雨明けが待ち遠しく感じられる今日この頃です。今回は国際理解の一步として、日本と外国の人の「言葉の受け止め方」の違いについてお伝えします。

先日、所用で京都市内を歩いていた時のことです。通りをすれ違う外国の人の多さにあらためて気付かされました。いかにも観光を楽しんでいる旅行者から、この街にすっかり馴染んで長く暮らしているように見える方まで、実に多様な人々が行き交っていました。こうした街の変化を通じて、社会の国際化や多様化が進んでいることを深く実感させられました。

日本には『空気を読む』という素敵な文化があり、言葉の裏にある相手の気持ちを察するのが得意です。しかし、海外の多くの国では『言葉通りに受け止める』ことが基本です。例えば、誘われたときの「行けたら行くね」という曖昧な返事は、相手には「来る可能性があるんだな」と伝わります。また、褒められたときに「いえいえ…」と謙遜しすぎると、相手は「せっかく褒めたのに拒絶されたのかな」と寂しく感じてしまうことがあります。言葉の受け止め方の違いを知ることは、相手の文化や心を尊重することに繋がります。



このことは、決して外国の人とのコミュニケーションに限った話ではありません。育った環境や価値観が違えば、日本人同士であっても言葉の受け止め方は一人ひとり異なります。「言わなくても分かってくれるはず」という思い込みが、思わぬ行き違いを生んでしまうこともあります。相手の背景に想像力を働かせ、丁寧な言葉で伝え合う姿勢を、まずは身近な人間関係から大切にしていきたいものです。



6月25日、本校にて『第1回学校運営協議会』が開催されました。この協議会は、地域の代表の皆様が一堂に会し、学校運営について共に話し合う大切な場です。今年度の学校経営方針をご承認いただき、子どもたちの健やかな成長に向けて、地域と学校が一体となって歩むための貴重な意見交換を行いました。委員の皆様、ありがとうございました。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

令和8年5月29日に気象庁が発表する防災気象情報が大きく変わりました。見ただけで『どんなレベルでどんな避難行動をとるべきか』すぐにわかるようになりました。

7月は梅雨前線の活発化や台風の接近により、記録的な大雨が発生しやすい時期です。また、発達した積乱雲による落雷の危険も高まります。登下校時の安全確保に向け、ご家庭でも以下の点について今一度ご確認ください。

危険な場所へ近づかない

増水した河川や用水路には絶対に近づかないよう、お子様へお声がけをお願いします。

雷から身を守る行動

ゴロゴロと音が聞こえたり、黒い雲が見えたりしたら、すぐに頑丈な建物等へ避難するようにご指導ください。木の下での雨宿りは大変危険です。

避難経路と情報の確認

地域のハザードマップで安全なルートを確認し、最新の気象情報に注意してください

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警戒	レベル5 大雨特別警戒	レベル5 土砂災害特別警戒	レベル5 高潮特別警戒
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警戒	レベル4 大雨危険警戒	レベル4 土砂災害危険警戒	レベル4 高潮危険警戒
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警戒	レベル3 大雨警戒	レベル3 土砂災害警戒	レベル3 高潮警戒
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意	レベル2 大雨注意	レベル2 土砂災害注意	レベル2 高潮注意
警戒レベル1	早期注意情報			

気象庁 HP より